

施策評価表

1次評価日（課長等） 26年 9月 30日

2次評価日（部長等） 26年 10月 1日

1 施策の概要

施策名	良好な都市景観の保存と創造	コード	15-1
この施策の主な内容（細施策）	①都市景観の整備		
第4次総合計画におけるこの施策の目的	豊かな自然景観を育むとともに、優れた歴史景観等を保存活用しながら、個性的で魅力的な都市景観を形成する。		
担当部課	部 建設水道部	課等 都市計画課	作成者 宮沢 健雄

●施策の実施内容（D0）

2 施策指標の達成状況

*第4次総合計画における目標指標の達成状況（最終年度：25年度）

施策指標名	単位	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度	
		実績値	実績値	目標値	実績値	達成率	目標値	目標値
① 岡谷市の景観に対する市民の意識（違反広告物）		0.0	0.0	10.0	5.0	50.0%	-	-
指標説明	景観に対する市民意識の高揚を図り、違反広告物の件数を減らす。26年度以降の目標数値については、第4次総合計画後期計画より施策指標を変更したため数値なし。							
② 岡谷市の景観に対する市民の意識（満足度）		14.1	13.8	39.0	12.7	32.6%	-	-
指標説明	良好な都市景観の保存と創造の推進により、市民アンケートにおける満足度を上げる。26年度以降の目標数値については、第4次総合計画後期計画より施策指標を変更したため数値なし。							
③ 岡谷市の景観に対する市民の意識（重要度）		35.9	36.4	75.0	36.6	48.8%	-	-
指標説明	良好な都市景観の保存と創造の推進により、市民アンケートにおける重要度を上げる。26年度以降の目標数値については、第4次総合計画後期計画より施策指標を変更したため数値なし。							

3 施策全体にかかる合計コストの推移

*項目6より「直接事業費」「人件費」の合計を自動表示

単位：千円

	23年度	24年度	25年度	26年度（予算）
直接事業費	334	620	826	4,962
人件費	3,920	4,000	2,480	2,480
合計コスト	4,254	4,620	3,306	7,442

●施策の評価（CHECK）

4 施策の現状評価

*25年度に施策の目的がどこまで達成できたか、施策の進行状況に関する順調／不調の判断

都市景観整備事業については、新美術考古館の開館に合わせ都市サインの設置し利用者の利便性を図った。
景観形成誘導事業については、良好な景観形成に資するための岡谷市景観計画案の住民説明会を開催し、周知、啓発を行った。景観写真コンテストなどを通じ景観意識の醸成を図ったが、市民全体への周知、啓発が弱く、市民の満足度は低迷している。

*岡谷市の現状のうち、この施策にとって強み／弱みとなる要因

岡谷市の強み	多くの自然景観や歴史的景観資源に加えて、近代産業の発展に寄与した製糸産業に関わる産業遺産、機械遺産等の岡谷市独自の文化的、歴史的資源がある。
岡谷市の弱み	人口減少、高齢化の著しい進行、空き家の増加。

5 今後の外部環境の変化

*27年度以降に予測される社会・経済などの環境変化のうち、この施策に具体的に影響する要因

有利に働くもの	美しい街並みなどの良好な景観形成への関心は確実に高まってきており、他自治体のまちづくりと連動した取り組みなど、参考となる先進事例も多い。
不利に働くもの	住民の価値観が多様化する中で、守るべき景観、育てていく景観の普遍的価値の見極めが難しくなっている。

●改善の内容 (ACTION) / 次年度の計画 (PLAN)

6 平成27年度 施策を構成する事務事業の方向性

●基本的な考え方

* 優先して実施する分野＝優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由
 * 見直しを行う分野＝優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	都市景観整備事業については、新たに整備された施設を誘導する都市サインの設置に合わせた全体案内板の再整備を行い、利用者の利便性を図っていく。 景観形成誘導事業については、景観に対する市民意識の高揚と良好な景観形成を図り、まちの魅力と生活空間の快適性を高めていく。
見直しを行う分野	景観計画案の住民説明会では総論賛成を頂いているが、諏訪湖周辺の高さ規制などの一部に規制との受け止めがあるため、商工業会などと丁寧な合意形成を行っていく。

●27年度の優先度

* 事務事業の方向性が「継続」の事業についてA～Cにランク付け
 A：拡大、B：現状維持、C：見直し、－：廃止・完了・統合

直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	成果指標		直接事業費	人件費	妥当性	方向性	優先度
					指標名	単位	23年度	23年度			
1		内部	その他	都市景観整備事業	—	—	23年度	1,200	—	継続して実施	B：現状維持
							24年度	319			
							25年度	430			
							26年度	4,510			
2		一般	なし	景観形成誘導事業	保全誘導件数	件	23年度	2,720	高い	継続して実施	C：見直し
							24年度	301			
							25年度	396			
							26年度	452			
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											